

文部科学省「国際協カイニシアティブ」  
平成20年度教育協力拠点形成事業  
第2回国内報告会

## 文部科学省国際協カイニシアティブ

- 大学の知を活用したESD国際協カモデルの形成促進 -

文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室  
2009年3月10日

1

## 大学の知を活用したESD国際協カモデル形成-背景

国連持続可能な開発のための教育の10年(DES D: 2005年-2014年)

「我が国における国連持続可能な開発のための教育の10年実施計画」(2006年3月)

⇒“我が国大学に期待される取組”

- ・ESDの優れた教材やカリキュラムの開発に努め、それらの成果を教育の場で活用。
- ・高等教育機関の専門性を活かした地域社会との連携、大学間の連携による取組の推進。

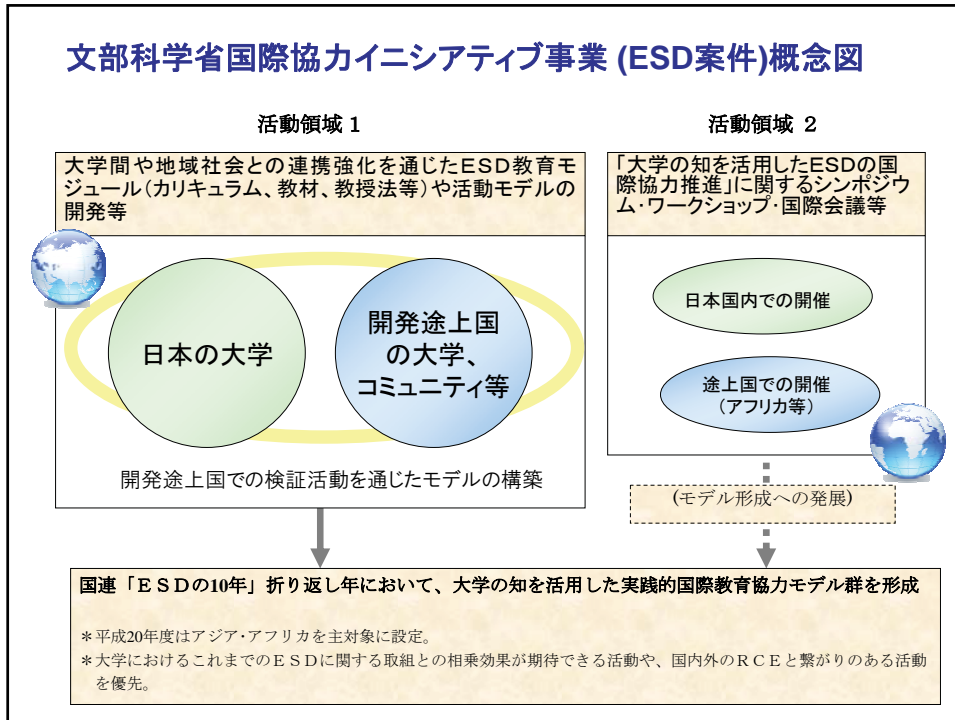
国内活動は着実に進展

国際協カ活動の進展はあまり見られない

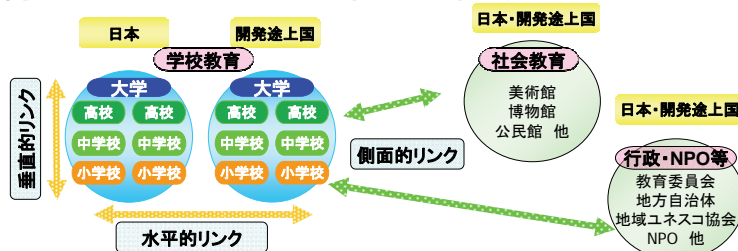
文部科学省国際協カイニシアティブ事業を通じた大学の知を活用した国際協カモデル形成の促進

2

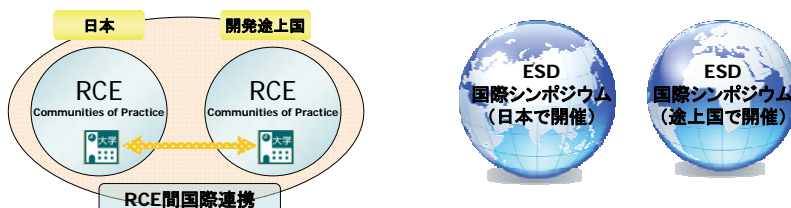
## 文部科学省国際協カイニシアティブ事業 (ESD案件)概念図



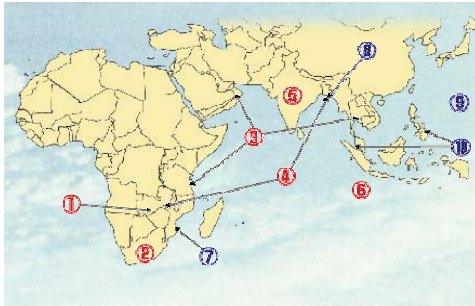
## 国際協カイニシアティブ事業の特徴



- 大学の知を活用した、開発途上国における検証活動を通じたESDの実践的国際協力モデルの形成(他の文科省における競争的資金では対応が困難)
- 日本と途上国の大学のよりイコールな関係による協力



## 2008年度実施案件



### ●大学の知を活用したESD国際協力推進に関する国際シンポジウム等

- ⑦ 愛媛大学、【モザンビーク】エドゥアルド・モンドレーン大学、ルリロ大学
- ⑧ 神戸大学、【バングラデシュ】グラミン銀行
- ⑨ 宮城教育大学、【アジア・大洋州】
- ⑩ 横浜国立大学、【マレーシア】マレーシア科学大学、【フィリピン】フィリピン大学

### ●教育モジュールや活動モデルの開発等

- ① 北海道教育大学、【ザンビア】モファット教育大学
- ② 国際基督教大学、【南アフリカ】ケープタウン大学
- ③ 三重大学、【タンザニア】ムヒンビリ健康科学大学、【タイ】コンケン大学、【UAE】シャルジャ大学
- ④ 岡山大学、【バングラデシュ】DAM(NGO)、【ザンビア】コッパーベルト大学、ザンビア大学
- ⑤ 東京大学、【インド】インド工科大学
- ⑥ 筑波大学、【インドネシア】ボゴール農科大学

5

## 2008年度の取り組みの特徴

- 日本のRCE全6地域中、4地域（仙台広域圏、横浜、兵庫-神戸、岡山）の中核大学がイニシアティブ事業による取り組みを開始。
- 海外の4地域のRCEとも連携（セブ、ペナン、ジョグジャカルタ、マプト）。
- アフリカ重視。


TICADIV Action Plan: "Promote ESD through integration of ESD into policies and practices to realize a more sustainable society."

アフリカ向け案件⇒TICADIVのフォローアップメカニズムへの組み込み

([http://www.mofa.go.jp/Mofaj/area/ticad/tc4\\_fum.html](http://www.mofa.go.jp/Mofaj/area/ticad/tc4_fum.html))

6

## アフリカ向け案件



2009年3月現在

**【タンザニア】**

● 三重大学 ■ ムビレリ健康科学大学  
ESDの理念に基づいた途上国における地域医療教育モデルの構築

**【ザンビア】**

① ● 北海道教育大学 ■ モファット教育大学  
サブサハラの基本教育におけるESDモデル単元  
カリキュラム・教材開発  
② ● 岡山大学 ■ コッパーベルト大学、ザンビア大学、  
CLC (Community Learning Center)を活用した食と健康に関するESDの取組み


**【南アフリカ共和国】**

● 国際基督教大学 ■ ケープタウン大学  
日本とアフリカの小中学校連携を軸とするESDモデルの構築・実践の試み

**【モザンビーク】**



● 愛媛大学 ■ ルロ大学、エトヴァルト・モドレーン大学  
国際シンポジウム：モザンビークと日本が共同して展開する環境ESDモデルの構築（2009年3月）

7



## 今後の方向性(1)

- 「国連ESDの10年」の最終年である2014年に向けて、大学の知を用いて、理論を実践活動に結び付けていくESD国際協力モデル形成を更に推進。
- アフリカの重視  
(TICADIV横浜行動計画のフォローアップ)

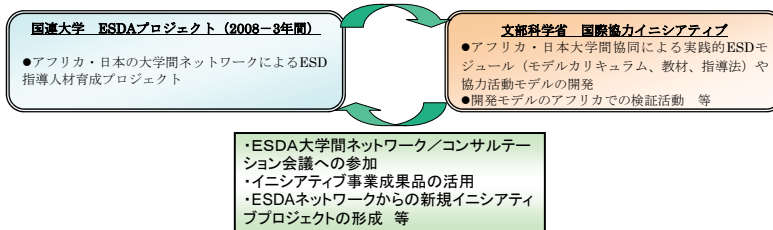



8

## 今後の方向性(2)

### ■ 他のフレームワークとの連携によるシナジー効果

例：国連大学によるアフリカ向けESD指導人材育成事業\*との連携の可能性



\* UNU Project on Education for Sustainable Development in Africa (UNU-ESDA)

### ■ RCE間の国際協力活動への大学の貢献の促進

9

## 「国際協カイニシアティブ」ライブラリー

「国際協カイニシアティブ」教育協力拠点形成事業

<http://initiative.criced.tsukuba.ac.jp/>



開発途上国における教育協力促進のため、大学ほか我が国の教育関係者等が有する教育研究上の知識や経験を調査・蓄積・体系化するとともに、我が国の知見を踏まえた教育協力モデルの構築・検証を行い、それらの成果を容易に活用可能な形式で公開することにより、国内外の援助関係者が教育協力の現場で容易に活用可能かつ活用効果の早期発現が期待できる成果群を形成することを目的とする。

#### 教育研究に関する我が国の知見体系化の支援

・教育研究に係る我が国の知識や経験の調査・蓄積と体系化、教育協力モデル化とモデルの検証・改善を支援

- <活動例>
- ◆ESD ◆大学経営・運営 ◆産学地連携(教育・研究)
  - ◆学校支援教育 ◆(生涯)遠隔教育
  - ◆(科学技術系)高度人材育成 ◆教育行財政
  - ◆FD (Faculty Development) ◆高等教育政策
  - ◆教員研修 ◆学校経営・運営 等

#### 青年海外協力隊派遣現職教員の支援

・JICAの青年海外協力隊「現職教員特別参加制度」で途上国に派遣される教員が多い職種を中心に、派遣前や派遣中の活動を支援

- ・帰国教員が日本国内で行う教育関連の活動を支援
- <活動例>
- ◆理科実験 ◆園工 ◆保健衛生 ◆音楽
  - ◆音楽 ◆体育 ◆学校行事 ◆特別活動 等

#### 成果の共有化情報化 ～成果品関連電子ライブラリー～

成果品の収集と管理、関連資料の収集と管理、広報等の実施

文部科学省による国際的「国際協カイニシアティブ」が構築されています。教員研修や教員養成に関する資料、ワークショップや学際協同に関する資料、様々な資料に関する教材や指導案など、国際教育協力が役立つ資料を検索することができます。

日本の国際教育協力  
日本の取組  
世界の動向  
課題ごとの検索  
ファイルからの検索

About  
教育実践の世界的動向  
「国際協カイニシアティブ」教育協力拠点形成事業とは

10

ご清聴ありがとうございました。



国際協カイニシアティブ  
URL:<http://www.scp.mext.go.jp/>